

Topics ■トピックス[学内情報]

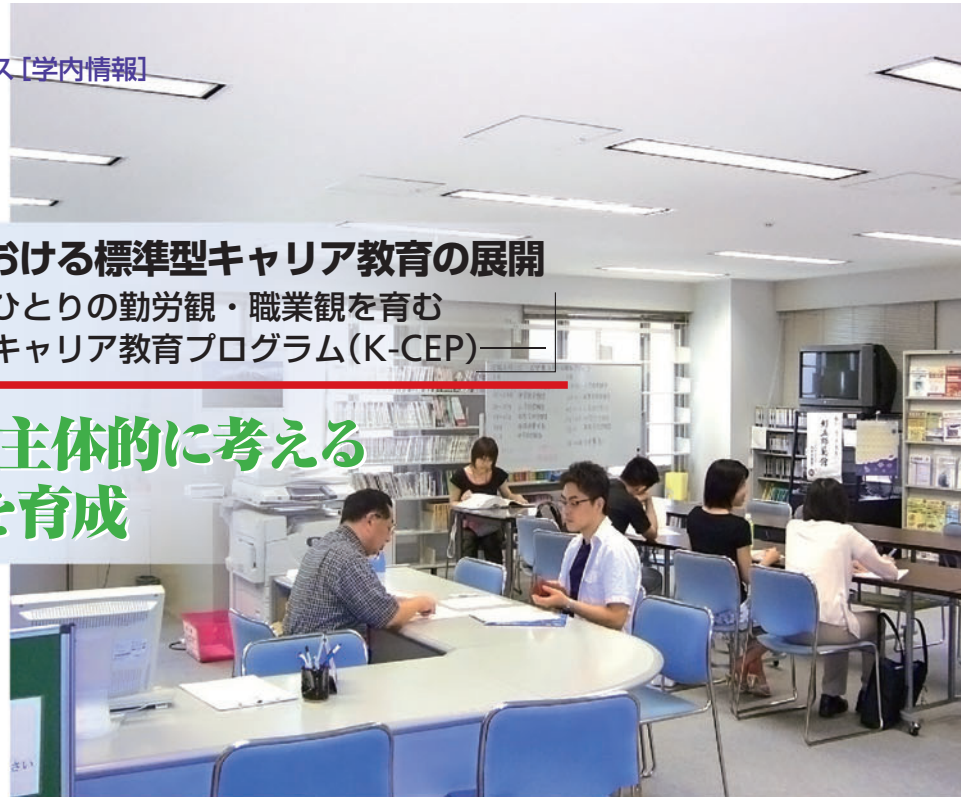
現代GP

総合大学における標準型キャリア教育の展開

——学生一人ひとりの勤労観・職業観を育む
関西大学キャリア教育プログラム(K-CEP)——

働き方・生き方を主体的に考える 「自律型社会人」を育成

関西大学のキャリア形成支援は、インターンシップやキャリアデザイン科目で実績を上げ、年々充実してきています。昨年は文部科学省「平成18年度現代的教育ニーズ取組支援プログラム(現代GP)」に、「総合大学における標準型キャリア教育の展開——学生一人ひとりの勤労観・職業観を育む関西大学キャリア教育プログラム(K-CEP)——」が採択されました。本プログラムの狙いや特色、キャリア支援の内容などを、北嶋弘一・キャリアセンター所長(工学部教授)、川崎友嗣・キャリアデザイン担当主事(社会学部教授)、吉原健二・キャリアセンター事務部長の3人に聞きました。



た「関西大学キャリア教育プログラム(K-CEP)」は、今までのシステムを総合的に発展させたもので、在学生のみならず、小中高等学校教員と社会人(卒業生、本学教職員)をも対象としています。

総合大学においては、特定学部の人材育成に偏ることなく、1~2年次の早期から学生一人ひとりの勤労観・職業観を育成し、系統的・継続的にキャリア教育・キャリア形成支援を展開することが求められます。そのため、全学部の学生を対象とし、学生が将来の働き方や生き方について主体的に考えるよう働きかけ、「自律型社会人」の育成を目指しています。

生涯のキャリアを視野に入れた、このようなきめ細かな支援システムは、わが国の大学ではほとんど例がなく、総合大学のスタンダードとして、他大学のモデルとなり得るプログラムだと思えます。

●小中高等学校教員を対象に キャリア教育研修

——本プログラムの特色である段階的な支援について。

川崎 学校・企業・自治体等との連携のもとに、キャリア教育を「大学の前に」「大学とともに」「大学の後に」という3つのフェイズで展開し、「大学とともに」の中では5つのステップで支援します。

まず「大学の前に」の部分では、小中高等学校教員を対象にキャリア教育研修を

実施しています。現在、小中高等学校でキャリア教育が展開されており、小中高の連携は図られつつありますが、これらと大学との連携は不十分です。キャリアに関する支援は大学の中だけで完結するものではなく、発達段階に応じてそれぞれの時期に行えば、大学でより適切な支援を展開できます。

「大学とともに」の部分では、在学生を対象としたキャリア教育が中心となりますが、さらに教職員を対象としたキャリア研修を開始します。

●卒業生就業支援、 キャリアカウンセリングを充実

——「大学の後に」に該当する卒業生就業支援について。

吉原 いかにも充実したキャリア教育を行っても、就職後に迷いが生じることはあり得ることです。2005年11月、キャリアセンター内に「卒業生就業支援室」を設置。株式会社関西雇用創出機構と提携し、卒業生の就業支援を積極的に展開しています。ただ、このシステムは闇雲に転職を勧めるものではありません。現状で何が問題であるかを、ご自分できちんと認識していただくところから相談させていただいています。年齢的に一番多いのは、20代の方々です。

——「キャリアカウンセリング」の体制は？
川崎 キャリアセンター内にキャリアデ



ザインルームを設け、専門のアドバイザー7人を配置し、常時カウンセリングが受けられる体制を整えています。2005年度は延べ3,790人の学生がキャリアデザインルームを利用し、このうち個別相談は1,826件に上っています。

●ビジネス・学校インターンシップ で高い実績

——キャリア支援5段階のSTEP IIにあたる「キャリアデザイン科目」の狙いは？
川崎 本学では、自分の将来を自らデザインしていく力を養うため、教養教育の中に「キャリアデザインⅠ・Ⅱ・Ⅲ」という3科目を組み込んでいます。基本的な考え方は北嶋先生がおっしゃったように、学生自身が自分の将来の働き方や生き方について、自分で考える力をつけていくことです。自らのキャリアについて「気づき」を促し、キャリア意識を高めることが目的であり、広い意味で言えば、インターンシップの事前教育プログラムと

位置づけることができます。
——インターンシップに関しては、関西大学は先駆的に取り組んできました。
北嶋 学校インターンシップは比較的新しい試みですが、ビジネスインターンシップは1997年から実施しており、既に10年の実績があります。両方合わせて、毎年700人を超えるほどの学生がインターンシップを経験しています。

STEP IIIの「インターンシップ事前研修・実習」は、本システムのコア・プログラムとして位置づけており、就業体験のためにしっかりと事前教育を行った上で、実際に学ぶことを目的としています。STEP IVは「事後研修」として、インターンシップ実習で得た成果を検証し、その後の就職活動に結びつけます。
吉原 現在では、従来の夏休みを中心とした2~3週間のプログラムに加えて半年間に及ぶ長期派遣や、アメリカのミズーリ州やハワイ州での国際インターンシップなど、多様なプログラムを展開

きているのも本学の取り組みの大きな特徴です。

●キャリア教育で 教員も学生も変わる

——本プログラムの一環として教職員の研修も含まれています。

川崎 キャリア教育は、一方向的に知識を伝達する従来の科目と異なり、グループワークなどを中心にして受講者の気づきを促していくところに重点を置いています。現在、教職員の教育力が求められていますが、特に学生のキャリア教育・キャリア形成支援にかかわることは、教職員自らのキャリアが問われることでもあります。FDやSDとしての効果が期待でき、教育内容・方法の改善という点で教育改革にもつながるものと考えています。

——キャリア教育のポイントや目標は？
川崎 社会に出て戸惑わないように、就業体験などを通じて職業観をしっかりと持ってもらうことが大事です。キャリア教育は、単にフリーターやニートを予防し、就職率を高めるという数値的な目標のためではありません。学生一人ひとりが「自ら学び、自ら考える力」を身につけ、学生の主体性・自発性に働きかけることが大切です。

吉原 関大生は、秘めたるポテンシャルが高いので、ちょっとしたヒントで、ずいぶん行動が変わり、大きく大人へと成長します。これからはキャリア教育の内容や充実度が、大学選びの一つの要因にもなると思います。

KANDAI NEWS

新学部を開設 政策創造学部、システム理工学部、 環境都市工学部、化学生命工学部

関西大学は2007年4月、新たに4学部を開設します。

政策創造学部は「実践的な政策立案力を養い、豊かな地球市民社会への扉を開く」を学部コンセプトに、「国際・アジア」「組織・政策」「地域・都市」の3つの専修を設けています。同学部が主に使用する第1学舎5号館が3月12日、千里山キャンパスに竣工しました。システム理工学部、環境都市工学部、化学生命工学部の理工系3学部は、それぞれし



文学部に初等教育学専修を新設 未来の小学校教師を養成

関西大学文学部は2007年4月、総合人文学科に「初等教育学専修」を新設します。小学校教員養成課程として、小学校教諭1種免許が取得できる関西大学初の履修コースです。幅広い人文学の教養に支えられた「ヒューマンで信頼され行動力のある未来の小学校教師」を育てることを目指しています。

また、9年間の義務教育を見通すことのできる教師になるために、文学部における中学校教諭1種免許(国語、社会、英語)の取得を履修モデルに組み込んでいます。